

氏名	難 波 祐 三 郎
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3438 号
学位授与の日付	平成12年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	The treatment of port-wine stains by the dye laser: A study of 644 patients (色素レーザーによる単純性血管腫の治療: 644例の検討)
論文審査委員	教授 荒田 次郎 教授 田中 紀章 教授 平木 祥夫

学位論文内容の要旨

単純性血管腫患者644例に対して色素レーザー治療を行った。患者の年齢、病変部位、病変部の大きさ、既治療の有無、肉眼的色調の違いにより、治療効果に差のあることがわかった。患者年齢が低いほど治療効果は良好であり、病変部が四肢にあるものより、顔面・頸部にあるもののほうが治療効果は良好であった。病変部の大きさが小さいほど、同一部位への照射回数が少なくて済み、小さいものは組織学的には浅在型が多いと思われた。既治療有りの症例は未治療の症例に比べ、治療回数が多く必要であるが、色素レーザーへの反応には差が無かった。肉眼的には濃赤色ないしは淡紫色を呈するものが治療効果が良好であり、特に拡張した血管が透見出来たり、赤色斑点の集簇が認められるもののほとんどが著効例であった。

論文審査結果の要旨

本研究は単純性血管腫患者644例に対して色素レーザー治療を行った成績を分析し、患者の年齢、病変部位、病変部の大きさ、既治療の有無、肉眼的色調の違いにより、治療効果に差のあることを明らかにしたものである。

1. 患者年齢が低い程治療効果は良好。
2. 四肢の病変より顔・頸の病変に対し効果が良好。
3. 何らかの治療を過去に受けている場合、レーザー照射回数が多くなる。しかし、効果は変わらない。
4. 臨床的に濃赤色～濃淡紫色を呈するもので治療効果が良好。

多数症例の分析であることにより、今後の色素レーザーによる単純性血管腫の治療における有用な根拠を与える業績である。よって本研究は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。